



企画展

「生誕100年記念“自由”を生きた画家 深沢史朗展」

そこかしこに男の熱い視線がつきささる。うなじに、口元に、指先に…。

わが町から、国際的な版画展で活躍した人物が輩出されているのをごぞんじですか。北向田出身の深沢史朗（1907 - 78）、その人です。

梅原龍三郎に師事し油彩を描いていた彼が、版画制作を始めたのは60歳間近のこと。そして71歳で亡くなるまでに、実に300点近くの版画を生み出し、当時、数多く開催されていた国内外の国際版画展に招待出品をし続けました。還暦をひかえてなお新分野を開拓する、その旺盛な制作欲にはまったく驚かされます。

題名にもあるように、本作は浮世絵師東洲斎写楽の役者絵がイメージの源となっています。つまり写楽のあの独特の造形美から感じ得たものを、史朗なりに再構成しているのです。鮮やかな色彩で彩られた明快な形と、生命や女性への賛美から生まれたエロスは史朗版画の特徴でもあります。思わずはっとさせる力強い作品に仕上がっています。

まもなく、史朗がこの地に生まれてちょうど100年。権威主義の画壇とは一線を画し、無邪気に自己の美学を追求した一個の画人、深沢史朗。その生き様と感性を、同じ土地に生を受けた人間



深沢史朗「Sharaku and I Box・A」76.0 × 64.0cm
1975年 栃木県立美術館所蔵

として、いまいちど見つめ直す時がきているのではないでしょうか。

※本作品は、平成19年1月8日まで開催の企画展「生誕100年記念“自由”を生きた画家 深沢史朗展」前期に出品されます。本展覧会は、「那珂川町民招待事業」として、町民の皆さまは無料でご観覧いただけます。

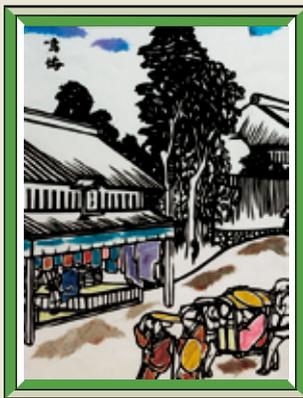
那珂川町馬頭広重美術館 学芸員 津田 卓子

街角美術館

広重の町にふさわしい商店街の活性化を図ろうと、新町下商店会女性部による切り絵を展示する街角美術館。

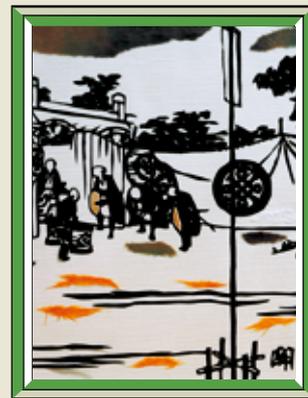
入会希望の方は山田スミさん（馬頭）まで。

☎0287-92-2012



「鳴海」白井ミチ

ミニギャラリー



「関」稲沢真子